

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	青少年対策事業	シート番号	014-007
担当部署名	子ども青少年 局 子ども青少年育成 部 子ども育成 課	評価責任者(課長名)	橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	2	社会全体で子どもをはぐくむ仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 9 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	大阪府青少年健全育成条例、堺元気づくり推進事業補助金交付要綱			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
5	事業実施の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>■こども110番事業 青少年育成大阪府民会議(会長:大阪府知事)にて提唱され、平成9年度から実施している。</li> <li>■元気づくり事業補助 平成12年度から府の補助を受け、平成18年度からは市単独の補助事業へ変更するとともに、補助対象事業をメニュー化し事業を実施している。</li> <li>■青少年の性犯罪被害防止 大阪府青少年健全育成条例改正によって「JKビジネス」に対する規制が盛り込まれたことを機に、平成30年度から「堺・セーフティプログラム」の中に位置付け、青少年の性犯罪被害防止のための啓発活動に取り組んでいる。</li> </ul>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内の青少年を中心とした全市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■こども110番事業 地域の中で不審者等が犯罪を犯しにくい環境をつくり、子ども大人も安全安心に暮らせるまちづくり。</li> <li>■元気づくり事業補助 学校、家庭、地域などが協働し、地域社会をあげて青少年の健全育成に向けた取り組みを推進し、総合的に教育力を活性化することにより、青少年に豊かな心と生きる力を育む。</li> <li>■青少年の性犯罪被害防止 啓発活動による青少年の性被害防止。</li> </ul>				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■こども110番事業 子どもたちが安心して暮らせる環境を確保するため、自治会を通して、子どもがよく通る道や通学路沿いにある住宅・商店を中心とした協力者に子ども110番の小旗を配布し、避難場所を確保するとともに、市公用車をこども110番の車両に指定し、犯罪の未然防止と防犯意識の醸成を図る。</li> <li>■元気づくり事業補助 各中学校区青少年健全育成組織に対し活動事業費を補助。主に、夜間校区巡回・校区美化清掃活動・地域・世代間交流・子育て支援等の活動を行い、青少年健全育成を図る。</li> <li>■青少年の性犯罪被害防止 地域ボランティアとの協力や学校との連携のもと、講演会等の実施や地域イベント等で啓発活動を行い、性被害の当事者である市内の中高生、教員や地域の支援者に対して、青少年を取り巻く性被害の危険性や対応策の周知を図る。</li> </ul>				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 各中学校区青少年健全育成組織					

Ⅲ. 投入量

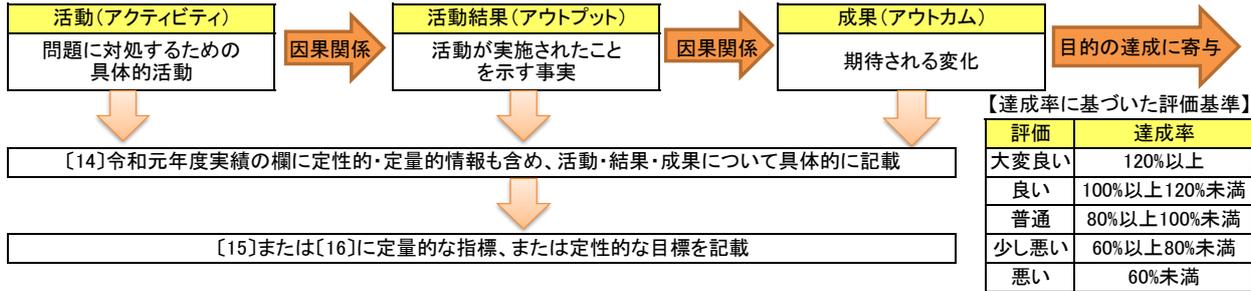
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	千円	17,830	17,386	18,486	18,040	18,222	17,549	18,224
11	主な事業費内訳								
	補助金	千円	17,200	16,786	17,200	16,831	17,200	16,846	17,200
	消耗品費	千円	270	271	270	701	388	366	751
	保険料	千円	250	250	250	250	250	250	250
	その他	千円	110	79	766	258	384	87	23
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他 ( )	千円							
	一般財源	千円	17,830	17,386	18,486	18,040	18,222	17,549	18,224
12	人件費 (b)	千円	3,410	3,410	5,830	5,830	5,820	5,820	5,870
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	21,240	20,796	24,316	23,870	24,042	23,369	24,094

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	青少年対策事業	シート番号	014-007
-------	---------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績									
活動実績と成果	14	<p>■こども110番事業 子どもたちが安心して暮らせる環境を確保するため、自治会を通して、子どもがよく通る道や通学路沿いにある住宅・商店・事業所等を中心とした協力者に子ども110番の小旗を配布し緊急避難場所を確保するとともに、市公用車を「こども110番のくるま」に指定し、犯罪の未然防止と防犯意識の向上を図った。</p> <p>■元気っ子づくり補助事業 補助対象43団体に補助を実施し、学校・家庭・地域などが協働し、地域ぐるみの青少年健全育成に向けた取り組みを行い、事業参加数延べ110,275人を得て、地域における青少年の健全育成活動を推進した。</p> <p>■青少年の性犯罪被害防止 「JK(女子高生)ビジネス」が社会問題となっている状況を踏まえ、青少年の性被害防止のための啓発活動を強化するため、中学生等をターゲットにした取り組みと幅広い方々に向けた取り組みを行った。 ・塚大魚夜市(7月31日)にて、会場に来られた方々に向け啓発促進として啓発グッズ(ウエットティッシュ)及び啓発チラシを配付。 ・中学生等に向けた啓発グッズであるクリアファイルを市内中学3年生と市立塚高等学校の全生徒へ配付。 ・塚市HPへ啓発ページを作成・公開</p>							
		15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			こども110番運動協力家庭等数	件	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
					実績値	9,357	9,138	8,822	
					達成率	94%	91%	88%	
		評価	普通	普通	普通				
		算出方法・設定根拠など こども110番運動協力家庭等数を増加させることによって、安全安心な環境の確保に努める。							
		16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			元気っ子づくり事業参加者数(子どものみ)	人	目標値	63,000	63,000	63,000	37,000
					実績値	66,601	65,833	62,629	
					達成率	106%	104%	99%	
		評価	良い	良い	普通				
		算出方法・設定根拠など 元気っ子づくり補助事業において、多くの子どもの参加者を得ることは、子どもを地域ぐるみで青少年健全育成の取り組みを進めることに寄与すると考える。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により地域の事業中止が多数あるため参加者数の目標値を修正。							

### 事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	こども110番運動協力家庭等数	件	9,357	9,138	8,822
	②	上記①にかかる年間経費	千円	718	1,599	936
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	77	175	106
備考(算出についての説明等)						
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①	元気っ子づくり事業参加者数(子どものみ)	人	66,601	65,833	62,629
	②	上記①にかかる年間経費	千円	20,078	22,271	22,433
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	302	338	358
備考(算出についての説明等)						

### 業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)

■こども110番事業  
地域におけるこども110番運動への理解・協力が定着していると考えられるが、令和元年度協力家庭等数は88%と減少。  
引き続き、各関係機関との連携を強化し、当該事業への理解・協力を浸透させていく必要がある。

■元気っ子づくり補助事業  
補助事業を通して、各中学校区内で多くの人が参画し、交流が活発に行われている活動。  
また、青少年の活躍の場の確保や大人と子どもの交流が意図的に設定されており、地域の教育力向上の取り組みとして、本事業が有効に活用されている。  
さらに、ボランティア活動や地域交流活動に多くの住民の参加があり、地域コミュニティの活性化にも大きく役立っている。

■青少年の性犯罪被害防止  
庁内の関連部局や学校、青少年指導員連絡協議会等、多様な主体と連携をしながら啓発活動が実施できた。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	青少年対策事業	シート番号	014-007
-------	---------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ■こども110番 子どもたちが安全に安心して過ごすことのできる環境の確保や犯罪の未然防止と防犯意識の向上を図ることができない。 ■元気っ子づくり補助事業 地域における教育コミュニティの醸成という趣旨目的を達成できない。 ■青少年の性犯罪防止 青少年の性犯罪防止に寄与できない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ■こども110番 犯罪の未然防止と防犯意識の向上等、地域における安全・安心の環境づくり確保の面から休止できない。 ■元気っ子・青少年の性犯罪防止 事業の目的を達成できないため、休止できない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 ■こども110番 事業実施に必要最低限の補助経費のみ計上しているため、削減した場合は事業継続ができない。 ■元気っ子づくり補助事業 事業内容の見直しを検討できる可能性はある。 ■青少年の性犯罪防止 現在事業実施に必要最低限の経費のみ計上しているため、啓発手法の見直しは可能であるが、削減した場合は事業継続ができない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由  左記の観点による改善点はない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	理由・説明 新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮しつつ、改善の余地があれば関係部署と連携しながら検討する可能性はある。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮しつつ、地域の関係機関・団体と連携を図り、効果的・効率的な啓発・事業活動に努めていく。		